

シクロシティ富山 Cyclocity TOYAMA



Copyright (C) 2009 MCD JCD. All Rights Reserved.

JCDecaux Group

ジェーシードウコー グループ

- ・1964年創業
- ・本社 フランス パリ
- ・事業実施都市 **56カ国 約3500都市** (広告1,040,600面)
- ・屋外広告事業 世界1位 (2010年)
- ・自転車共有事業 世界1位 **69都市**

『ストリートファニチャ事業』

- ・広告料収入を原資として、自治体や市民の負担無しに、道路上のインフラや交通サービスを提供する。
- ・広告を活用したPPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ) 事業。

都市空間は市民の共有資産。

⇒ 共有資産の効率的運用は行政の使命。

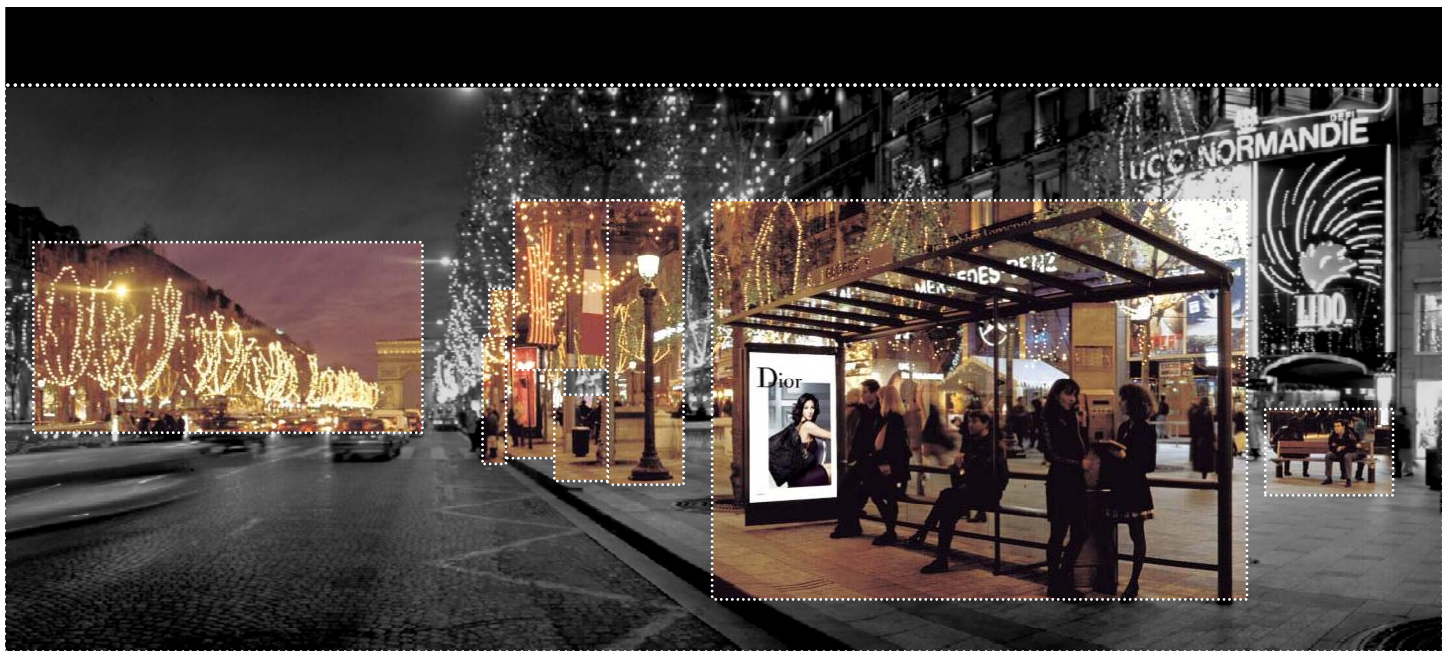
⇒ 広告事業を通じて収益を市民サービスに還元。



・バス停留所上屋 (パリ シャンゼリゼ大通り)



・ヴェリブ Velib' (パリ)



イルミネーション



信号機



照明柱



フラッグ
ポール



ゴミ箱



照明柱



B-Stop®



ベンチ

すべてJCDが、広告料収入を原資として提供・運営しているストリートファニチャ

MCDecaux

MCDecaux
エムシードウコー

エムシードウコー株式会社

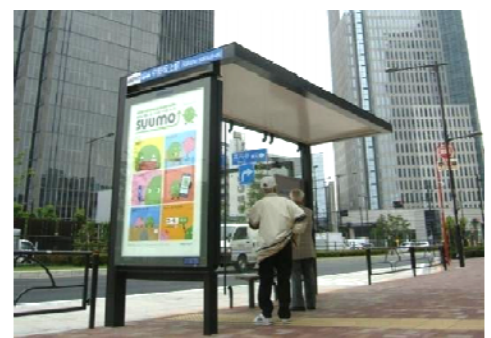
- ・2000年(平成12年)設立
- ・東京本社 東京都千代田区神田錦町3-23
- ・ジェーシードウコー社60% 三菱商事株式会社40%
- ・資本金 4億6千万円
- ・その他事業拠点 名古屋、大阪、福岡

『B-Stop®(広告付きバス停留所上屋)事業』

- ・広告料収入を原資として、自治体、バス事業者、市民の負担無しに、バス停留所上屋の製造設置、その後の維持管理を行う。
- ・68(7公営交通局)のバス事業者と事業展開。
- ・全国45都市、1292基の上屋を整備。

『モールスケープ®事業』

- ・イオングループ、イトーヨーカドーグループと事業展開。
- ・全国163店舗、1438基設置。



・広告付きバス停留所上屋 B-Stop® 東京都 中野区



・モールスケープ事業



東京都 豊島区



横浜市



名古屋市



京都市



札幌市

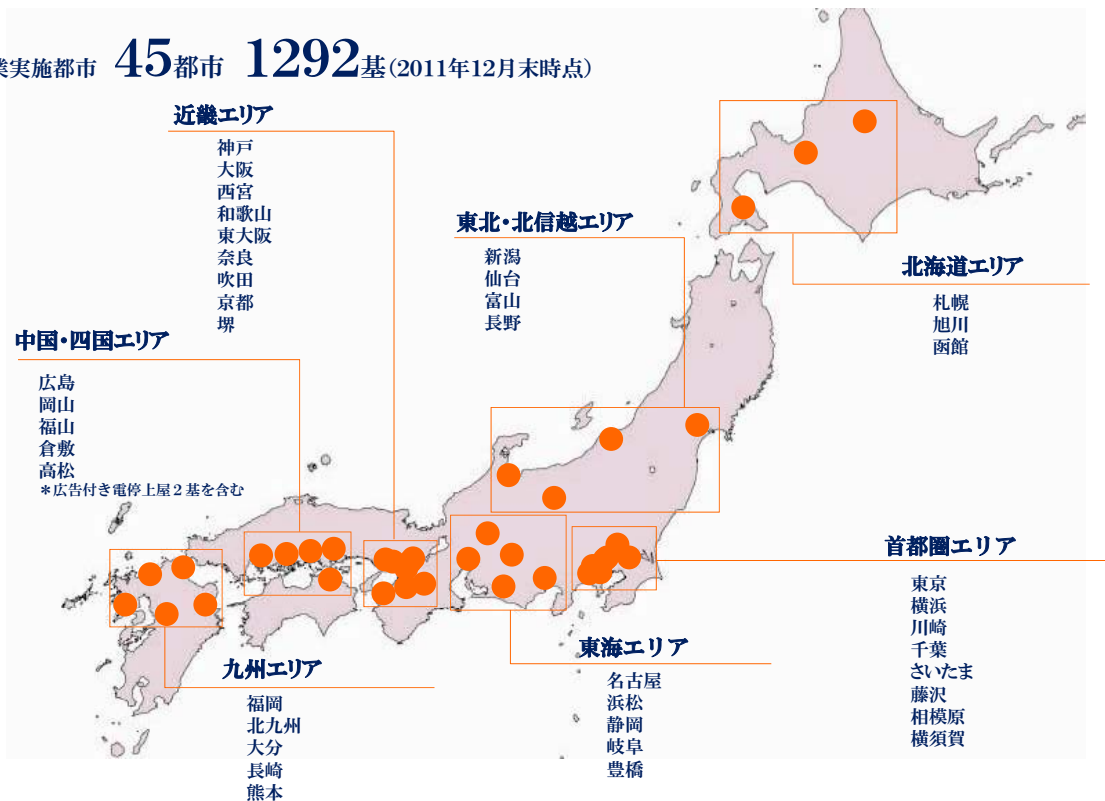


大阪市

B-Stop® (広告付きバス停留所上屋)

- ・広告料収入を原資として、自治体、バス事業者、市民の負担無しに、バス停上屋の製造設置、その後の維持管理を行う。
- ・68 (7公営交通局含む)のバス事業者と事業展開。

● 事業実施都市 45都市 1292基 (2011年12月末時点)



50年に及ぶ事業の歴史で培った メンテナンス・維持管理の技術。

- ・清掃 月2回／2週に1度
屋根上部下部、ガラス、フレーム、広告パネル、周辺清掃。
- ・巡回 週1回
目視による外観チェック。ゴミ屑など美観を損なう箇所があれば除去。
- ・出動 2営業日以内
ビラ、落書き等は、2営業日以内に除去。悪質な落書き等については、速やかに除去。
- ・修繕 5営業日以内
破損、故障又は損傷は速やかに養生し、5営業日以内に修繕。



美しいデザインのポスターが魅力的な街並みに色を添え、 都市空間を活性化します。

- 広告は2週間ごとに交換・掲出されます。
- 厳正な広告審査を通過した上質なデザインの広告です。
- 事業実施中の都市には原則として全て同様の広告が掲出されます。



SUNTORY

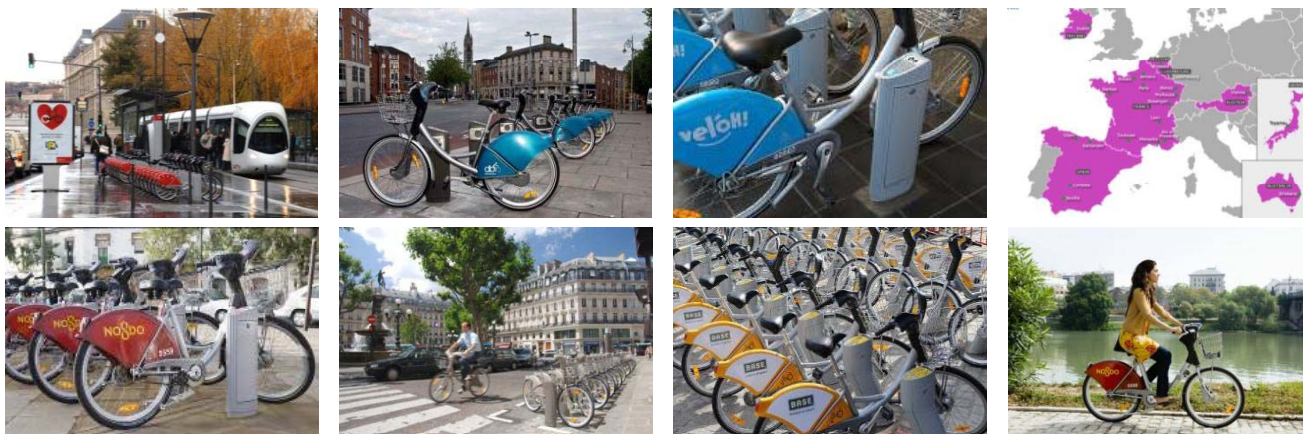


FAST RETAILING



CHANEL





シクロシティ® (コミュニティサイクル、自転車共同利用システム)

- ・好きなステーションから自転車を借りて、好きなステーションに返却できる、新しい公共交通サービス。
- ・世界**69都市**でサービスを提供。日本国内では富山市。
- ・10年以上の事業経験を通じてノウハウを蓄積。

Copyright (C) 2009 MCD JCD. All Rights Reserved.

	コミュニティサイクル	レンタサイクル
ステーション	多い(300m毎)	少ない
利用方法	好きなステーションに返却	借りたステーションに返却
管理方法	IT管理	人的管理
営業時間	24時間	日中
利用料金	最初の30分無料 利用時間に応じて課金	1日〇〇円 1回△△円

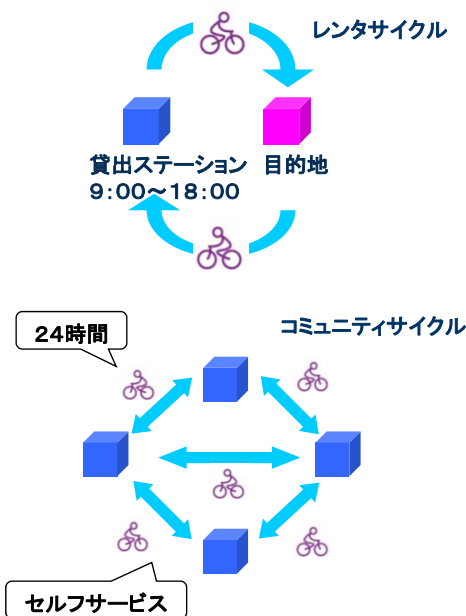
海外主要都市導入事例

2002年 ベルリン
2007年 パリ、バルセロナ
2008年 ローマ
2009年 ワシントン
2010年 ロンドン
2012年 ニューヨーク(予定)

既存の公共交通を補完

長距離：電車、地下鉄、バス
中距離：路面電車、バス、タクシー
短距離：徒歩 **+コミュニティサイクル**

- ・新たな短距離公共交通手段を提供
- ・公共交通の利便性向上
- ・自動車からの転換を促進



コミュニティサイクルは公共交通のスタンダードに

Copyright (C) 2009 MCD JCD. All Rights Reserved.

1. CO₂排出量の削減

- ・環境にやさしい新しい公共交通。
- ・短距離交通手段を提供し、既存の公共交通網を補完。
- ・『スローモビリティ』。

2. 放置自転車の削減

- ・『所有⇒共有』
- ・自転車総量の減少⇒放置自転車の削減
- ・統一デザインの自転車で景観も向上

3. まちの“にぎわい”の創出

- ・まちの魅力再発見
- ・行動範囲の拡大、トリップ数の増加⇒観光振興
- ・新たなコミュニケーション



街の価値向上に不可欠なサービス

Copyright (C) 2009 MCD JCD. All Rights Reserved.

シクロシティ富山

日本初のコミュニティサイクル本格導入

- 運営開始：2010年3月20日
- 運営日数：651日（2011年12月末時点）
- 運営時間：24時間365日（冬季は降雪量に応じて制限）
- 自転車台数：150台
- ステーション箇所数：15箇所

導入目的

富山市は環境モデル都市。「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO₂排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが大きな焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることが目的。

導入経緯

- ・2008年11月、森市長が欧州で各都市の事業を視察
- ・2009年1月、富山市が導入の検討及び関係各所との協議調整を開始
- ・2009年10月、富山市と事業契約を締結
- ・2009年12月、ステーション設置箇所、料金設定等を発表
- ・2010年3月1日、定期パス先行登録受付開始
- ・2010年3月20日、サービス開始



Copyright (C) 2009 MCD JCD. All Rights Reserved.

ステーション



市政情報パネル



リーズナブルな料金設定

基本料	
1日パス	300円
2日パス	500円
7日パス	1,000円
定期パス (パスカ)	500円/月額
定期パス (メンバーカード)	700円/月額
利用料	
最初の30分	無料
31分~60分	200円
61分以降、30分毎に	500円



登録からレンタルまで、簡単シンプルなサービス

パス	支払方法	登録方法	利用ツール
定期パス	クレジットカード or 口座振替	ウェブサイト PC、携帯電話 or 窓口(郵送)	メンバーカード or パスカ(フェリカ)
7日パス 2日パス	クレジットカード	ウェブサイト PC、携帯電話	ID&暗証番号 or パスカ(フェリカ)
1日パス	現金	提携ホテル窓口	メンバーカード

①登録



ウェブサイトから登録。
3分程度で完了。



メンバーカード

2日程で指定の住所
に郵送されます。



パスカ(フェリカ)

お持ちのフェリカを
ステーションで『リンク』。
所要時間は約1分。

②レンタル



カードをラックにかざすだけ。
5秒以内に解錠。

③返却



自転車をラックにいれるだけ。
5秒以内に施錠。

登録からレンタルまで5分以内

充実したサポート体制、いつでも快適に利用できる環境

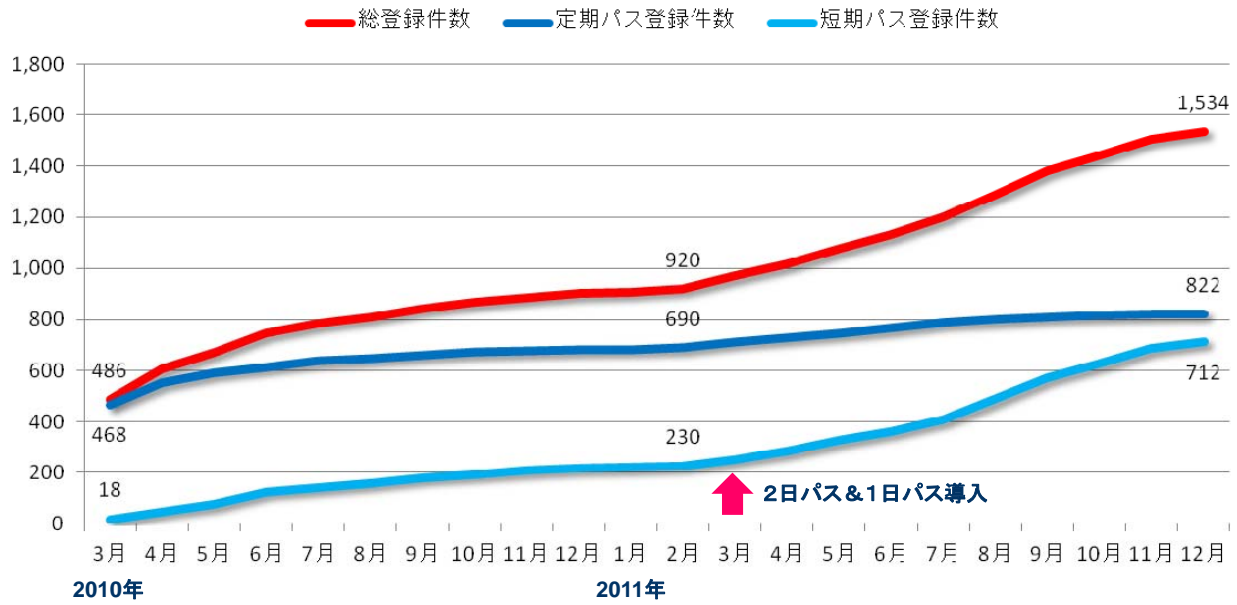
専門スタッフを現地で雇用

- ・定期的な清掃、メンテナンス
- ・専用車両によるステーション間の台数調整

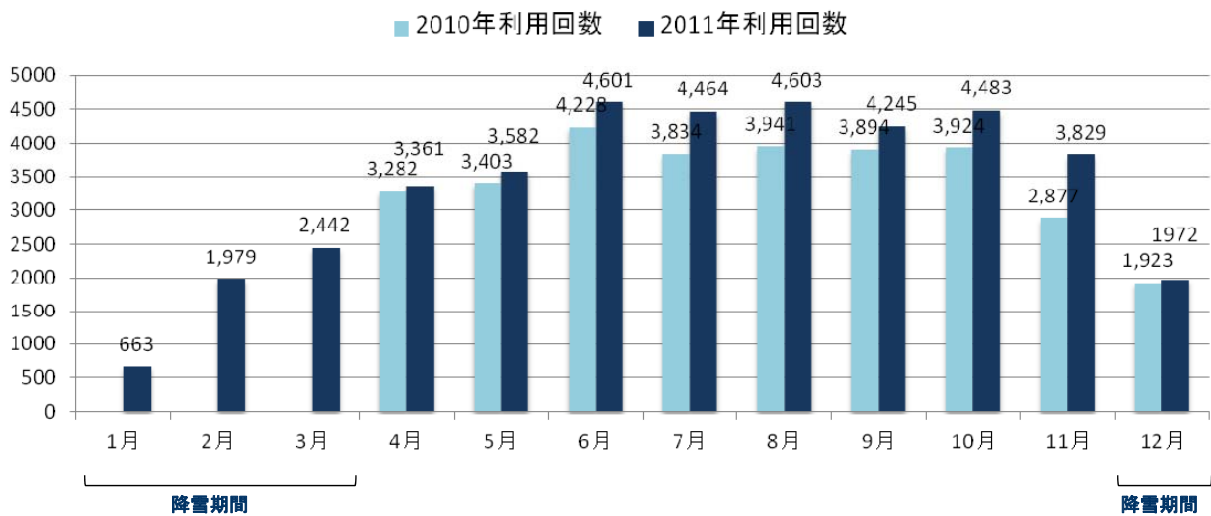
カスタマーサポート

- ・フリーダイヤルのコールセンター
- ・専用の携帯ウェブサイト&スマホアプリ(利用状況確認、ステーション検索 等)





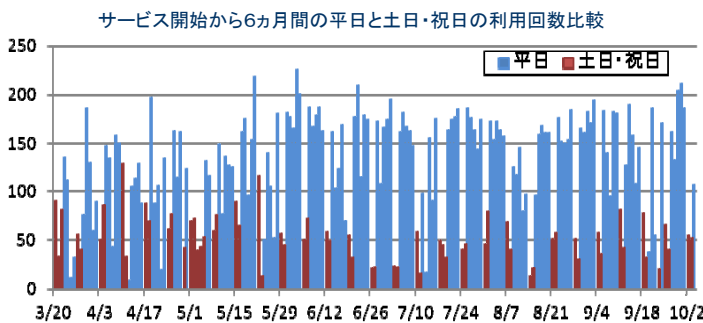
- ・定期パスは堅調に推移。
- ・2日パス&1日パスが好調のため、総登録件数も増加傾向。



- ・2011年利用回数は各月とも前年比で約1割増。
- ・降雪期間の利用はハイシーズン(6, 7, 8月)の4割以下。

総運営日数 : 651日
 総利用回数 : 73,652回
 総利用時間 : 約9,820時間 (平均利用時間 約8分/回)
 最高利用回数 : 296回/日 (2011年11月4日)

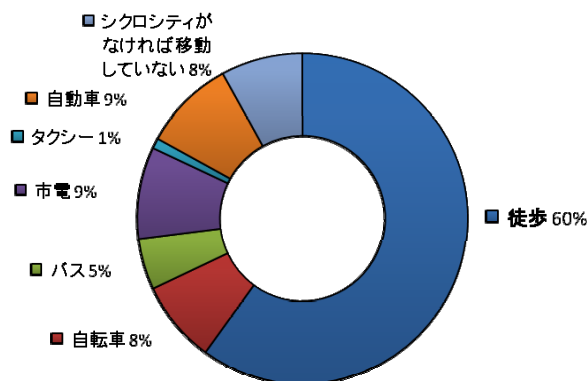
平均利用回数 : 113回/日 (サービス開始から現在まで)
 : 129回/日 (降雪期間を除く)
 平日平均利用回数 : 142回/日 (サービス開始から現在まで)
 : 175回/日 (降雪期間を除く)



総務省 統計局 社会生活統計指標
 -都道府県の指標-2011
 自然環境 気象 2008年
 富山県 快晴日数 19日(年間)(5.2%)
 雨天日数 163日(年間)(45%)
 雪日数 52日(年間)(14%)

シクロシティ利用による交通手段の転換(N=308) 2010年12月調査

「(シクロシティを利用する)以前までの移動手段は？」

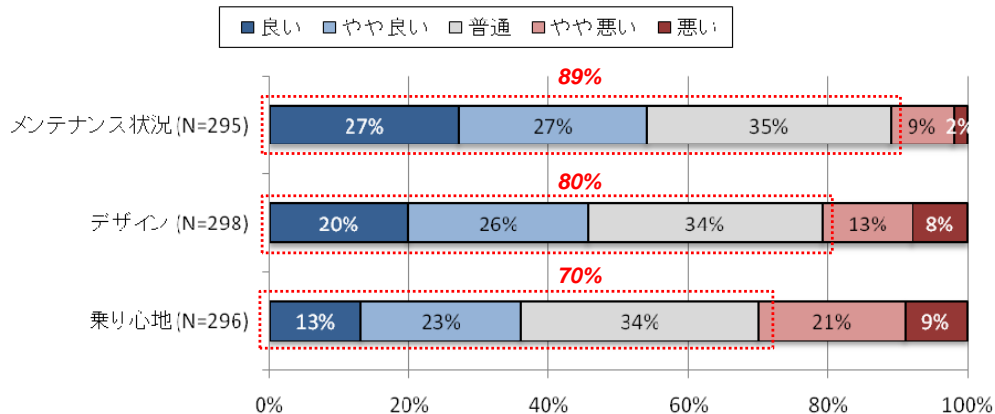


- 徒歩からの転換が60%と非常に多い。
- 公共交通からの転換が15%と非常に少ない。
 ⇒中心市街地の短距離移動需要に対して新しい交通手段を提供し、既存の公共交通を補完していると言える。
- 自転車からの転換が8%と多い。
 ⇒放置自転車や違法駐輪の削減を期待できる。
 ⇒駐輪場整備負担軽減を期待できる。
- 自動車からの転換が9%と比較的多い。
 ⇒CO2など温暖化ガスの排出削減が期待できる。
- 「シクロシティが無ければ移動していない」が8%と比較的多い。
 ⇒活動機会の創出と捉える事ができ、中心市街地活性化への寄与が期待できる。



公共交通として期待される機能や効果を備えている。

サービスの満足度<自転車とメンテナンス> 2010年12月調査



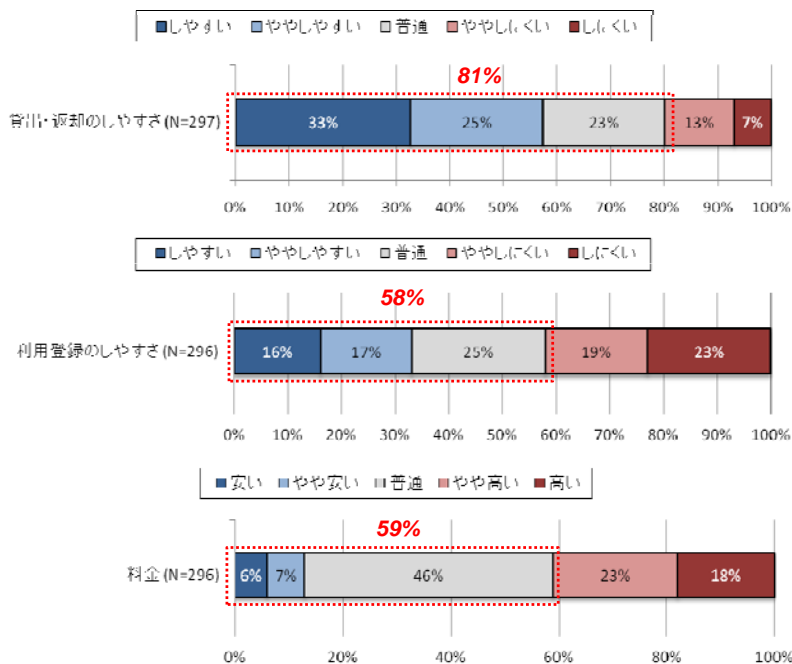
- いずれの項目についても70%以上が満足している。
- 特に、メンテナンス状況については約90%が満足している。

サービスを運営するうえで、最も重要なポイントは『メンテナンス』。次いで、『デザイン』、そして『乗り心地』。運営上重要なポイントほど満足度が高い結果となった。

⇒自転車やメンテナンスについて**満足度が高い**。

⇒利用者に安心感を与える、**適切な運営**がなされている。

サービスの満足度<貸出・返却、料金、登録> 2010年12月調査

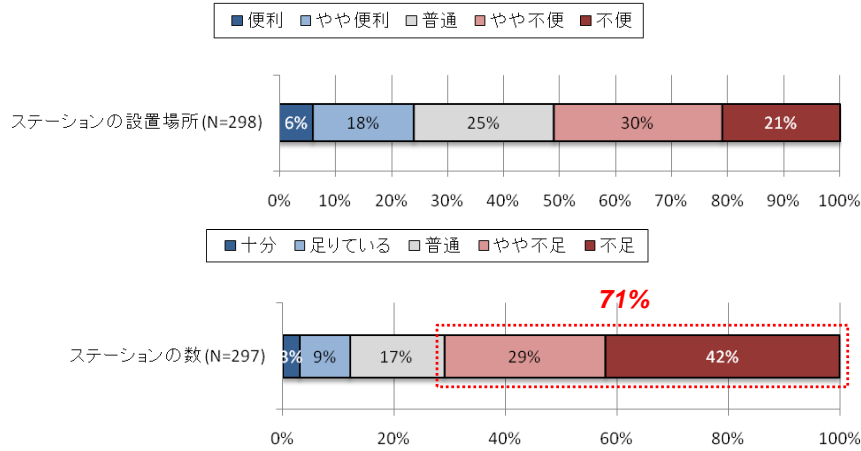


- 約80%が満足している。
- ⇒**大変利用しやすいサービス**。

- 約60%が満足している。
- 『普通』という回答がやや多いが、各項目に偏りが無い。
- ⇒**適切な登録システム**。

- 約60%が満足している。
- ⇒**適切な料金設定**。

サービスの満足度<ステーション> 2010年12月調査



●70%以上が、ステーションの数に不満を持っている。

⇒現在のステーション設置場所には概ね満足しているが、**ステーションの増設**を求める声が多い。

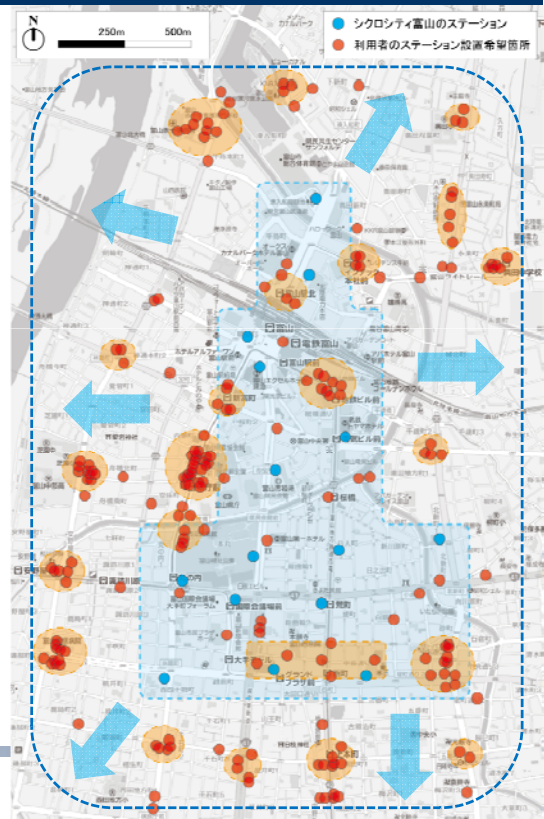
サービスの満足度<ステーション> 2010年12月調査

「現在あるステーション以外で、ステーションがあれば良いと思う場所があれば、左の地図上に『✓』印でご記入ください。」

回答者数: 84票
設置希望箇所: 合計200箇所

- 県庁前交差点など、**主要な交差点付近**に希望が集中。
- 現在のステーション範囲外への希望が多い。

⇒15箇所のステーション配置は概ね適切。
⇒**ステーションネットワークの拡大**が望まれている。



① 市政情報パネル 歩道面の活用

・パネル歩道面は、地図情報だけでなく、イベントや催事などの様々な情報を掲出



② 1日パスの導入 地元ホテルとの連携

- ・市内中心部の25ホテルと提携
- ・サービス登録者増&ホテル利用者へのサービス向上

③ ステーションの増設

・利用者から希望の多いステーション増設について検討中



- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 1. 誰でも利用できる | ➡ | リーズナブルな料金設定、簡単シンプルな利用方法 |
| 2. 高密なネットワーク | ➡ | 道路上、広範囲、300m毎のステーション |
| 3. ハイクオリティな機器 | ➡ | 頑丈で安全な自転車と機器 |
| 4. 充実したサポート | ➡ | いつでも快適に利用できる環境
・定期的なメンテナンス
・専用車両による台数調整
・充実したカスタマーサービス、コールセンター 等 |
| 5. 安心して登録できる
継続的なサービス | ➡ | 安定的且つ継続的な副次収入 |

